

山形県中山町とは。

where ?



- 人口・・・約1万2千人
- 行政区域面積:31.15km²
- 町のキャッチフレーズ:
「スポーツとフルーツ伸びゆくまち なかやま」
- 基幹産業:農業と工業
お米(はえぬき、つや姫)
サクランボ、すもも、ラフランス、りんご
- 地域資源:芋煮会(発祥の地)
柏倉九左エ門家
(山形県指定文化財)



元祖芋煮 会 in 中山



町の課題とは？

①人口減少と少子高齢化の進行

若い世代の減少、出生数や合計特殊出生率も年々低下



○地域の活力不足や地域コミュニティの確保

○医療・介護・福祉の需要増大により、マンパワーの確保や財政的負担の増大

②公共施設やインフラ等の老朽化


建築後三十年以上経過した建物・・・全建物数の約4割！！

財源確保もままならず整備が進まず・・・。



公共施設等総合管理計画に基づく適正管理の必要性

テーマ①本町のまちづくりにおける課題と官民連携の取組み

 現在取り組んでいる官民連携事業とは？

国土交通省のH28先導的官民連携支援事業(事業手法検討支援型)の採択

公共施設における選択と集中・再配置のための官民連携調査事業の実施

事業の概要

地域活性化のための新たな町のコアの形成を図るため、公共施設やスポーツ施設について、集約・再配置を行うための官民連携事業による事業手法について調査・検討する。

調査結果を踏まえて、

公共施設の集約・再配置等について、官民連携事業による事業の具体化

テーマ②官民連携を進めるにあたっての課題



官民連携を進めるにあたっての懸念、苦労しそうな点は？

①議会や住民への周知、相互理解に基づく合意形成

②事業効果のある官民連携事業の展開

○単なる公共施設の整備で完結しない

○町の抱える問題の解決、町全体の活性化

③地元経済の活性化につながる事業スキームの構築

○官民連携事業による施設(ハード)とサービス(ソフト)の区別

○多様な資金調達方法の設計



有識者からアドバイスをもらいたい点は？

①官民連携に関するマニュアル等の整備は必要？

自治体側の官民連携事業に関する知識や経験・実績不足

➡マネジメント業務を外部のアドバイザーに委託

➡町として客観的な判断や評価が必要

(技術的作業、公共事業方式との経済的な比較など。)

➡性能評価の方法やモニタリングの方法が浸透していない

②全国的に官民連携事業が進んでいない理由とは？

地域(地元)企業の官民連携事業に関する知識や経験・実績不足

➡コンソーシアム組成など牽引する企業や人材不足

➡地方銀行のプロジェクト・ファイナンスの経験値が少ない

その他これからの官民連携に期待すること



官民連携に取り組む目的は？

住民や地域の関係者を巻き込んで、

地域振興や新たなまちづくりにつながる公共空間の創造を図ること。



どのような効果を期待して官民連携に取り組むか？

①公共施設の効率的な整備や収益施設の導入による財政的負担の軽減

②施設の建設や維持管理における地元への経済的波及効果の期待、

民間ノウハウの活用による住民に対する良質な公共サービスの提供

(スポーツや福祉、子育て支援、医療、観光レクリエーション等の部門)

